



絶望

という名の

君に微笑む

R-18

いつ誰が殺し、
殺されるか分からない
無人島生活——

何度この島で、異常な
事態に巻き込まれて
きたのかも分からない



つはあ……ッ、

そして——今もまた
俺は、異常な事態に
巻き込まれている。





黙っててよ



予備学科の日向くん
なんか指図される
筋合いはないからね

じゃあ、何で
まだこんな事
するんだよ...!

あのさあ...何か
勘違いしてるん
じゃないかな

まだ?

...え?



—— 全くもって
愚かだよ



どうせ日向クンの
事だろうから

僕が、「希望の象徴と
こんな事するなんて
身の程知らずだけど、
なんて幸運なんだろう！」

とか思いながら今まで
日向くんに抱かれたがうて
あまつさえ童貞までもらった
とか考えてるんでしょ？



……正直、誰でも
良かったんだよね

なっ……



これはただの
性・欲・処・理・な・の・だ・か・ら



何の意味も
ない……？

本当に
そうなのか



軍人がいつ死ぬか
分からない戦場に行くど、
子孫を残そうとして
本能的に興奮状態になり

それを処理するために
男同士でもセックスすることが
あるて話、聞いたことないかな？

その状況と全く一緒
——そこには何の
意味も無いんだよ



お前は……そんな
奴じゃないだろ……!

じゃあ何?
君は一体僕の何を
知ってるっていうの?



違うッ……

こんなの、
違うッ!



少なくとも、これまで
ここで見てきた
お前ぐらいは分かる!

理解したいとも
思わないけど……

ああ……確かに
俺はお前の事なんにも
分からないし



いつもこうしてる時、
お前の目は恍惚として……
「希望」を語る時のそれと
おんなじ色をしていた



確かにお前は「この行為に、
「希望」があると期待
してたはずなんだよ



いつだって
「希望」の為に
行動してきたお前が

……さすがは
日向くん、この程度じゃ
ごまかされないか

「無意味」なんていうのは
おかしいじゃないか！

……

確かに、今までは
そんな「動機」も
あっただろうね……



——でもそもそも、今は
その「希望」もないんじゃない
説明になってないよね？

僕は、真実を知ってしまった
……今度こそ、この行為に
意味なんか無いでしょ？



ツ!!!

どうして
こんな――

完全に絶望した
ような目を
しているんだ？

拍枝は、本当は
俺が予備学科って事実
以外にも、何か知って
いるんじゃないのか……？

……どう
して……

さっさとこんな事
終わらせちゃおうよ

……ッ

何でお前は、
そんな悲しいこと
言うんだよ

ちよう……

!!!





正直、どうしたらいいのかわかんないんだけど

や、だ……!

どうして拍子なんか、こんな風にしようと思ったのかも分らないんだけど

あつ

うッ



あ、はっ離してよ日向クンッ……!

そんな風にして欲しくないッ……!

はエ

ちゅるっ



お前、何で自分から勝手にするのは良くて

俺からされるのは嫌なんだよ……ッ

ん、ん

今どうしなきゃダメになる気がして



あつ、ああ!

ビクッ

ああつ、そこ、ヤッ
弄らないで……!



ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

お前いつも自分で
慣らしてると

正直足りなくて
キツいんだからな



あうッ

ん、あ

パチゅ



だめだってば……!

その言いつつは
感じてるだろこれ……

うあ、あつ



ほら、ちゃんと
見せろつて

! ヤッ……



粕枝、
顔隠すなよ……

あああ……ッ

やら……



も、う...こんな事、
しなくていいからあッ...!

はあッ...あ

は、やく、さささ
日向クンの、挿れてよおッ...!

なあ...、どうしてお前は
そんなに焦ってるんだよ...!



なんっ、う、

あ、あッ、ああ

ぐぢゅ

ぐぢゅ

ちゅ

ん



狼枝、ちよつと
口貸せよ



唾液
借りるからな...



……どうして

は

は



これが以前までの僕だったなら、
きっと幸運だといって

素直に喜べたのかも
しないのにな……
……運命は本当に残酷だ



……

俺が言うのも
どうかしてるけど

……お前が何を
隠してるのか
知らないけど

最初から
諦めたような事
言わないでくれよ

なあ……もう
挿れてもいいか







本当、日向くんには
敵わないよ...



あーっ

ああっ
ベクベクッ

あ、あーナカッ
ワラワラして...ナー

あ、あ...
あ、あ...



ぬぽお

ひ、またんっ...

っは、こまえ、だっ...

あ、あッひ



猫枝、こま、えだ……ッ!

あ……ッ
んん……

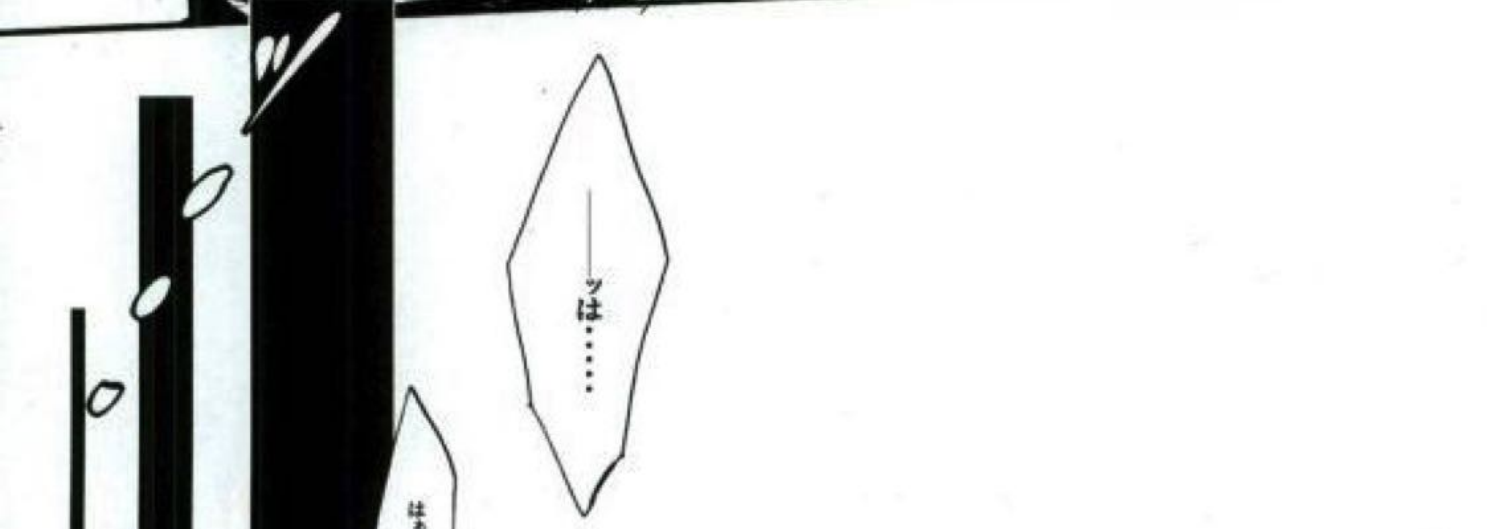


らめ、ら……ッ

あ、あッ

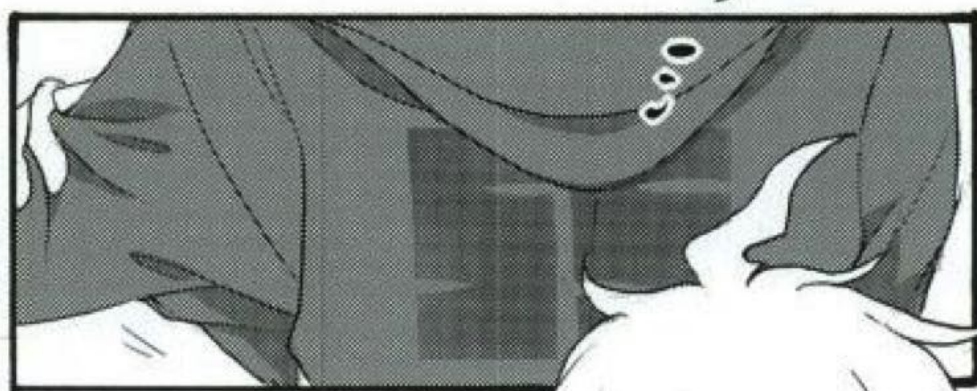
あ、うそッ

……ッ!!!



ッは……

は……



…あーあ

なんて絶望的な
展開なんだろうね



今・夜・限・り・で
僕は、
僕と君との間に

“何も無かった事を
証明しようとしてたのに…
見事に邪魔されちゃったな

君が何を思って
突然こんな事をしたのかは、
僕には分からないけれど

…僕は、本当は
こうしてもらえる事を
どこかで期待してたのかも

…日向くん僕はね、
生まれてからずっと

自分に幸運があっても、
誰かを幸せにしたことは
一度もないんだ

誰かの役に立ちたい
…ただそれだけの
願いのために

どうして、神様は
叶えてくれないんだ？

君達はどこかで
道を間違えてしまった
だけなのかもしれないけど

僕なんかには…
最初から「絶望」しか
なかったのかもね

…そろそろ行くよ

そして、
全てを終わりにする


「絶望」という最大の
「不幸」を代償にして

僕は必ず…
「希望」になってみせる

……ああ、でも
最後はひとりでだけ

こんなこと言うのは
馬鹿らしいと思うけど、
——もしも

「才能」も「希望」も「絶望」も
……なんにも関係ない立場で
今度また君に会えるとしたら、
その時は——



僕は、
ちゃんと君に

“好き”って
伝えられるのかな



SUPER DANGANRONPA 2nd FAN BOOK #1

Hinata * Komaeda

Presented by Gekidan-Retro-Za.